

2023年7月10日

佐世保市長 宮島大典 様

佐世保の水と石木ダムを考える市民の会
#ダムより花を
水問題を考える市民の会
石木川まもり隊

石木ダム建設について市民との対話を求めます

5月1日、初登庁された宮島市長は就任会見で「対話を重視した市政をつくりたい」と語られました。私たち市民は、その言葉を重く嬉しく受け止めております。

ご存じのように、石木ダム建設は佐世保市にとって「悲願」とも「喫緊の課題」とも言われながら、事業開始から既に48年が経過しています。人口減少や節水機器の普及で水需要も減少の一途を辿る中で、石木ダムに対する市民の意識も変化し、賛否も二分しています。

前市長は石木ダム建設推進派団体とは度々面会なさっておられました。見直しを求める団体とは一度も会おうとはされませんでした。佐世保市は石木ダムの起業者であり、市の方針に賛同できない市民に会う必要はないとお考えだったのでしょうか。しかし、石木ダム事業費の財源の多くは私たち市民の税金と水道料金です。起業者としては、賛同していない市民にこそ会って、その声に耳を傾け、ダムの必要性について丁寧に説明すべきではないでしょうか。

宮島市長も石木ダムについては推進のお立場であることは私たちも認識しています。「県と連携を密にし、歩調を合わせながら取り組んでいく」と語っておられましたが、その県のトップの大石知事は、昨年11月24日私たち4団体と面会されました。わざわざ佐世保まで足を運び、石木ダムの見直しを求める市民の声に耳を傾けてくださったことに私たちが謝意を伝えると、知事は「佐世保市民も私にとっては長崎県民です。知事の私が皆さんのお話を聞くことは当然です。しかし、皆様のお考えを佐世保市に届けることも重要なことだと思います。市の方でもしっかりお答えされると思いますので、よろしく願いいたします。」と語られました。

前市長のときには叶いませんでしたが、大石知事と歩調を合わせて取り組まれる宮島市長なら私たちとの対話を実現していただけるはずだと信じて、お願いいたします。

【要請事項】 石木ダム建設について私たち市民との直接対話の場を設けてください。

ご回答は以下の連絡先へ文書で、7月20日（木）までをお願いいたします。

